



2022年10月13日

各位

ディップ株式会社
代表取締役社長兼CEO：富田 英揮
(コード番号：2379 東証プライム)

問合せ先
執行役員 CFO 経営統括本部長：新居 晴彦

2023年2月期第2四半期(累計)業績予想と実績値との差異および 通期業績予想の修正に関するお知らせ

2022年4月14日に公表いたしました2023年2月期第2四半期(累計)業績予想と、本日公開の実績値の差異が生じたので、お知らせいたします。

また、2022年10月13日開催の取締役会において、2023年2月期通期業績予想を下記の通り修正することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 第2四半期業績予想と実績との差異

(1) 2023年2月期第2四半期(累計)連結業績予想数値との差異

(2022年3月1日～2022年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期 純利益
前回発表予想(A)	百万円 23,800 ～27,500	百万円 4,400 ～7,300	百万円 4,300 ～7,200	百万円 2,800 ～4,800	円 銭 50.40 ～86.40
実績値(B)	23,819	5,783	5,564	3,692	66.18
増減額(B-A)	19 ～3,681	1,383 ～1,517	1,264 ～1,636	892 ～1,108	
増減率(%)	0.1 ～13.4	31.4 ～20.8	29.4 ～22.7	31.9 ～23.1	

(2) 差異の理由

売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益の全てが、業績予想のレンジ内での着地となりました。3月にまん延防止等重点措置の発令、7月には新型コロナウイルス感染症「第7波」の感染急拡大等の影響を受け、売上高は下限値近傍となりました。一方、ディップ・インセンティブ・プロジェクトのプロモーション等が奏功し、過去最大の応募数を獲得でき、加えて効率的な広告宣伝投資により経費が圧縮され、各利益は中央値近傍に着地しました。

なお、2023年2月期第2四半期(累計)実績につきましては、2022年10月13日付「2023年2月期第2四半期 決算短信〔日本基準〕(連結)」をご覧ください。

2. 通期業績予想の修正

(1) 2023年2月期通期連結業績予想値の修正(2022年3月1日~2023年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	49,400 ~ 59,300	9,400 ~ 16,900	9,100 ~ 16,600	5,900 ~ 11,100	106.20 ~ 199.80
今回修正予想(B)	49,400 ~ 51,500	10,400 ~ 12,600	10,100 ~ 12,300	6,800 ~ 8,400	121.89 ~ 150.57
増減額(B-A)	0 ~ 7,800	1,000 ~ 4,300	1,000 ~ 4,300	900 ~ 2,700	
増減率(%)	0.0 ~ 13.2	10.6 ~ 25.4	11.0 ~ 25.9	15.3 ~ 24.3	
(ご参考)前期実績 2022年2月期	39,515	5,602	5,320	3,487	62.77

(2) 修正の理由

上期実績を踏まえ、通期業績予想のレンジを狭めるものです。

コロナ禍前の水準まで回復していない労働市場や求人広告市場について、上限値はコロナ禍前の水準に早期に回復する前提、下限値は、それらの市場が緩やかに回復していく前提としております。

なお、2023年2月期の配当予想につきましては、2022年10月13日付「剰余金の配当および期末配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

以上

(注意) 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき弊社において判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合がございます。今後の業績の予想につきましては随時見直しを行い、開示ルールに従って公表してまいります。